

第7コース：エクセル統計解析～医薬品情報を読むための統計のイロハ～

講師：長崎大学 薬学部 西田孝洋 准教授、和田光弘 准教授、大脇裕一講師

医薬品の添付文書やインタビューフォーム、学術論文には、医薬品の効果や副作用に関する統計学的な情報が多く見られます。薬剤師としては、医薬品の有効性や安全性を表す統計学的情報を正しく解釈し、医薬品情報に強くなることは、患者さんの安全を守る観点からも非常に有意義です。本コースでは、薬剤師としての統計的推論力を養成するために、統計解析法の基本的な理論を十分に理解し、一連の統計処理および有意差検定までを、コンピュータを用いて実際に行えることを大きなねらいとします。統計解析あるいは表やグラフの作成については、代表的な表計算ソフトであるエクセルを用い、エクセルスキルの向上も図ります。

第1回 エクセルに慣れよう：エクセル入門 6/1（日）

概要：簡単な表やグラフ作成、数式や関数など、エクセルの基本的な操作を演習します。

第2回 血糖値の全体的傾向を把握しよう：代表値・相関 6/8（日）

概要：血糖値などの全体的傾向を把握するための平均値、標準偏差などの代表値の算出と相関関係の調べ方について学びます。

第3回 解熱効果を判定しよう：2群間の差の検定 6/15（日）

概要：解熱効果などの薬効判定によく用いられる、Student's t-test（関連2群、独立2群）およびF検定について学びます。

第4回 予防接種の効果を判定しよう：カイ二乗検定 6/22（日）

概要：予防接種などの疫学調査やアンケート調査の検定でよく用いられる、カイ二乗検定について学びます。